



【SDGs 持続可能な開発目標】

大崎町持続可能なまちづくり条例にあるように「美しいふるさと大崎町を持続可能なまちとして、次世代に引き継ぐ」ために、少子化対策や定住促進などの人口減少対策といった、持続可能なまちづくりを目標とした施策を展開するとともに、誰一人取り残さず、誰もが住みやすいSDGs未来都市の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【資源リサイクル】

「資源リサイクル」については、町民の皆様の高い意識とご協力により、「大崎リサイクルシステム」として全国でも高い評価をいただいております。また、民間団体やその他自治体などからも視察・研修を受け入れ、指導・助言を行っているところでもあります。

この「大崎リサイクルシステム」を全国へ広め、大

崎町が環境施策のひとつの指針・目標となり、大崎町へ「ひと」を集め、「ひと」を育む施策を展開するだけでなく、社会的弱者にも優しい「ごみリサイクル」施策をめざしてまいります。

【ふるさと納税】

ふるさと納税については、財源不足を解消したいという強い思いで取り組んでまいりましたが、各施策に充てられる貴重な自主財源として活用できるだけでなく、その返礼品により大崎町産品を全国にアピールすることができ、事業主や中小企業を育てることにつながっております。今後も積極的に取り組み、寄附を頂いた「ひと」ともつながりをもてるように、より注力してまいります。

【スポーツ・観光振興】

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅、くらの松原クロスカントリーコース等のスポーツ・観光施設を活用し、「陸上競技の聖地実現プロジェクト」によりスポーツと観光を一体にした振興施策に努め、大崎町に滞在していただき、さらに宿泊していただける環境づくりに努めてまいります。

また、健康づくりや生きがいづくりのための生涯スポーツや運動の振興にも努め、高齢者から子供まで誰でもスポーツに触れ合える環境づくりをめざしてまいります。

大きく4点ほど申し上げましたが、各般の施策に全力で取り組むとともに、既存の事業等の効果もしっかりと検証し、見直しまたは廃止を含め、行政施策のスリム化も図りながら、課題解決に努める決意でございます。

